

申し込み要項

申込方法

1 一般参加者

【住民の方など自治労連組合員以外の方】

ホームページの申込み専用ページから申し込んでください。

ホームページ <https://jichiken.com/>



※ただし、申し込みにあたりインターネット環境がない場合は、事務局までご相談ください。

2 自治労連組合員の方

所属する労働組合、または、自治労連の都道府県組織、県事務所へ申し込んでください。

受付開始 **7月1日(金) 午前10時**

締め切り **8月26日(金) 正午**

報告、発言の字幕対応について

10月1日(土) 全体会および10月2日(日) 第4分科会「高齢者と障害者を守る社会保障を求めて」に限り、報告、発言の字幕対応を行います(会場・オンラインとも字幕対応)。

注意事項

- 宿泊および昼食弁当の斡旋はしていません。各自で手配をお願いします。
- 締め切り時点の申し込みデータで、レターパックで集会資料と参加費支払用の郵便払込用紙を同封してお届けします。締め切り以降のキャンセルはお受けできませんのでご注意ください。
- 集会資料は、9月初旬にお届けします。
- ①一般参加者【自治労連組合員以外の方】は、申し込みの際に登録いただいた送付先にお届けします。
- ②自治労連組合員の方については、申し込みされた都道府県組織、県事務所を通じてお届けします。
- ③集会資料にオンライン参加についてのご案内を同封します。
- 自然災害の発生や、新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応については、ホームページの第16回地方自治研究全国集会専用ページ上でお知らせいたします。

*お早めにお申し込みください。定員制(先着順)です。

参加費

住民の方など(自治体職員・議員・自治労連組合員を除く)

1日のみ参加、両日参加とも
1,000円

自治体職員、議員、自治労連組合員の参加費

1日のみ参加、両日参加とも
3,000円

- 一般参加者【住民の方など】(ただし自治体職員・議員・自治労連組合員を除く)の参加費は、1日のみ参加、両日参加とも1,000円です。
- 自治体職員・議員・自治労連組合員の方の参加費は、1日のみ参加、両日参加とも3,000円です。
- 分科会運営委員、要請レポート報告者、障害者の介助者、集会委員は参加費不要です。

保育室

10月1日(1日目)、10月2日(2日目)の両日、参加者が就学前の子どもを預けることができる保育室を設けます。保育室を利用する場合は、1日利用・2日間利用に関わらず**保育利用料(保険料等)1,000円/人**です。ご希望の方は、自治労連まで電話でお申し込みください。

※おやつ及び10月2日(2日目)のお弁当は各自持参してください。

自治労連本部 憲法政策局

〒112-0012 東京都文京区大塚4-10-7

自治労連会館

TEL 03-5978-3580 FAX 03-5978-3588

E-mail info@jichiroren.jp

お問合せ対応時間 平日9時30分～17時30分まで

お問合せ

お申し込みはホームページからお願いします

※入力いただく内容は、下記をご参照ください
※参加費は、集会資料へ同封する郵便払込取扱票でお支払いください

※ホームページからの申し込みが難しい方は、自治労連へご連絡ください。

他の申し込み方法をお知らせします。

※入力内容は下記「申込項目」をご参照ください。

ホームページ <https://jichiken.com/>

自治労連組合員の方は、

所属する労働組合、または、自治労連の地方組織(県本部)、県事務所へご連絡ください。

第16回地方自治研究全国集会申込書

フリガナ	都道府県		所属団体・職場・職業等	
名前				
参加形態 (何れかに✓印を)	<input type="checkbox"/> 1 一般参加 <input type="checkbox"/> 2 分科会運営委員 <input type="checkbox"/> 3 要請レポート報告者 <input type="checkbox"/> 4 集会委員 <input type="checkbox"/> 5 障害介助者 <small>(レポートを自主的に持ち込む場合は、1にチェック✓をしてください) ※2～5の方は参加費不要です。</small>			
連絡先	住所 資料送付先	〒() 都道府県 市区町村		
	送付先電話番号	— — (自宅・職場)		
	携帯電話番号	— —	Eメールアドレス @	
参加する日および分科会等 (参加する日に✓印を)	<input type="checkbox"/> 10月1日(土) ・ <input type="checkbox"/> 10月2日(日)		参加分科会番号 <small>分科会番号をご記入ください</small>	<input type="checkbox"/> 有 レポート持ち込み <small>(自主的なレポート持ち込み)</small>
参加費 (何れかに✓印を)	<input type="checkbox"/> 1,000円 <input type="checkbox"/> 不要 <small>※自治体職員、議員、自治労連組合員は右欄にて✓印をお願いします。 ※参加形態2～5の方は参加費不要です。</small>		<input type="checkbox"/> 3,000円 <input type="checkbox"/> 不要 <small>※自治労連組合員の方は、所属する労働組合、または、自治労連の地方組織(県本部)、県事務所へご連絡ください。 ※参加形態2～5の方は参加費不要です。</small>	

※全体会・分科会は、定員制(先着順)です。ホームページからお申し込みください。

※保育(小学校入学前)は、自治労連までお電話(企画財政局03-5978-3580)でお申し込みください。

個人情報保護法に基づき、この申込内容を目的外に使用することは一切ありません。

集会テーマ

いのちとくらし
平和を守ろう
憲法をいかに
自治体を



第16回 地方自治研究全国集会 inハイブリッド東京

※当日、現地での申し込みはできません。8月26日正午までにお申し込みください。

1日目 10月1日(土) 全体会 12:30 開場 13:30 開会～16:30

会場 KFCホール(国際ファッションセンター) オンライン Zoom ウェビナー 字幕対応(会場、オンライン)

開催方法 会場参加とオンライン参加の併用開催となります。新型コロナウイルス感染状況により、完全オンライン開催となる場合があります。

記念講演 **全体の奉仕者であり続けるために —35年の記者経験から考える—** 講師 **相澤 冬樹氏** (元NHK記者)

プロフィール 元NHK記者。大阪司法記者クラブで「森友学園問題」取材し、異動を命じられたためNHKを退職。大阪日日新聞で論説委員・記者のかたわら、森友学園問題に関するルポルタージュを相次いで発表。2021年7月に退社し自由な立場で記者を続ける。
最新刊『マサコさん、がんばる』(共著『私は真実が知りたい 夫が遺書で告発「森友」改ざんはなぜ?』の続編) 文藝春秋、『真実をつかむ 調べて聞いて書く技術』角川新書、『メディアの闇 安倍官邸 vs. NHK 森友取材真相』文春文庫

基調フォーラム
現場からの証言を交えたパネルディスカッション(仮)



2日目 10月2日(日) 分科会 10:00 開場 10:30 開会～15:30

会場 自治労連会館、林野会館、東京労働会館ラパスホール、全労連会館、全国家電会館、日本教育会館 オンライン Zoom ミーティング

開催方法 会場参加とオンライン参加の併用開催となります。新型コロナウイルス感染状況により、完全オンライン開催となる場合があります。

※会場地図は中面をご覧ください

【主催】第16回地方自治研究全国集会共同実行委員会
【構成団体】自治体問題研究所、日本科学者会議、公害・地球環境問題懇談会、原発問題住民運動全国連絡センター、全国商工団体連合会、全国保険医団体連合会、全日本民主医療機関連合会、全国生活と健康を守る会連合会、障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会、全国保育団体連絡会、(公財)日本医療総合研究所、農林運動全国連合会、全国地域人権運動連合会、日本婦人団体連合会、日本母親大会連絡会、新日本婦人の会、全国借地借家人組合連合会、新建築家技術者集団、自由法曹団、民主教育研究所、日本自治体労働組合総連合 順不同
【賛同団体】全国労働組合総連合、中央社会保険推進協議会、日本平和委員会、消防職員ネットワーク

【事務局】日本自治体労働組合総連合(略称 自治労連) 〒112-0012 東京都文京区大塚4-10-7 自治労連会館 TEL.03-5978-3580 FAX.03-5978-3588 E-mail / info@jichiroren.jp <https://www.jichiroren.jp/>

会場 自治労連会館、林野会館、東京労働会館ラパスホール、全労連会館、全国家電会館、日本教育会館 オンライン Zoom ミーティング 開催方法 会場参加とオンライン参加の併用開催となります

◆ 第1分科会

地域経済の再生—地域産業の活性化と持続可能な循環型まちづくり

農林水産業や商工業など地域産業と、その担い手である中小・小規模事業者に着目し、地域調査活動や中小企業振興条例制定などの取り組みも交えながら、安心して住み働き続けられるまちの実現に向けた具体策を探ります。

助言者 岡田 知弘(京都橋大学教授・京大名誉教授)

会場 家電会館1F大会議室(先着40名) 地図⑥ オンライン Zoom

◆ 第3分科会

誰もがふつうに暮らせる希望が持てる社会をつくるために

新型コロナ危機で、格差や貧困の実態が鮮明になっています。「自助」は限界です。社会を変えるためには何が必要か、自治体の役割は何か、様々な分野の運動を交流して考えます。

助言者 桜井 啓太(立命館大学准教授) 衛藤 浩司(全労連最低賃金運動・地域経済局長)

会場 全労連会館2階ホール(先着100名) 地図④ オンライン Zoom

◆ 第5分科会

新型コロナで考える地域医療と公衆衛生のゆくえ

新型コロナ感染症拡大で医療体制と保健所の脆弱さが浮き彫りになりましたが、政府は将来に向けた方針を変えずにいます。各地の運動・経験を交流し、「命と暮らしを守る地域医療と公衆衛生のゆくえ」について考えます。

助言者 長友 薫輝(佛光大学准教授)

会場 林野会館503-504会議室(先着70名) 地図② オンライン Zoom

◆ 第7分科会

保育はどうなる？ 私たちはどうする？

新型コロナ危機で保育現場は疲弊。しかし基準は低いままで処遇改善も雀の涙。国・自治体の責任は後退し保育内容への介入は進む…。そんな中で私たちは何をすべきか考えます。

助言者 大宮 勇雄(福島大学名誉教授)

会場 林野会館604会議室(先着70名) 地図② オンライン Zoom

◆ 第9分科会

軍事力で平和は実現できるの？—憲法9条から考える「平和の仕組み」

戦争は武力で解決できるのでしょうか。憲法から平和をどう実現するか考えます。

助言者 太田 伊早子(横浜法律事務所 弁護士)

会場 東京労働会館ラパスホール(先着40名) 地図⑥ オンライン Zoom

◆ 第2分科会

災害・気候危機と持続可能な地域・自治体

頻発する自然災害の背景には気候危機があり、人類の緊急課題となっています。近年の災害対応の現状と課題を踏まえ、国・自治体は何をなすべきかを学び、深めます。

助言者 上園 昌武(北海学園大学教授・地球環境市民会議理事) 秋山 正臣(全国対連事務局長/全国労働組合総連合 事務局次長)

会場 日本教育会館701会議室(先着30名) 地図⑥ オンライン Zoom

◆ 第4分科会

高齢者と障害者を守る社会保障を求めて

COVID-19の流行は、この国の社会保障の脆弱さを浮き彫りにしました。高齢者や障害者の暮らしへの影響をリレートークで明らかにし、社会保障制度としてのあるべき姿を考えます。

助言者 河合 克義(明治学院大学名誉教授)

会場 自治労連会館4階会議室(先着30名) 地図① オンライン Zoom

◆ 第6分科会

公共施設再編と子どもの権利・学ぶ権利

「公共施設等総合管理計画」で小中学校の統廃合、公共施設の廃止、民営化などが進む中で子どもの権利や学ぶ権利が脅かされています。子どもが人間らしく生き、学ぶこと支える実践を持ち寄り学びあいます。

助言者 山本 由美(和光大学教授)

会場 林野会館603会議室(先着30名) 地図② オンライン Zoom

◆ 第8分科会

わがまちの未来を守る住民自治、住民参加

住民の暮らし、まちの未来を決定的に左右する大問題に、地域住民はどう立ち向かうのか？自治体労働者・労働組合はどんな役割を果たすのか？「わがまちの未来を守る」住民主体の運動や取り組みを学び、交流します。

助言者 森 裕之(立命館大学教授)

会場 日本教育会館702会議室(先着30名) 地図⑥ オンライン Zoom

◆ 第10分科会

「デジタル化、産業化」は自治体に何をもたらすか

新型コロナ危機や災害で自治体行政の役割が問われる中、国主導で進む「デジタル化と産業化」は住民の生活を豊かにするものなのか。学習と各地の現状報告、運動の課題を探ります。

助言者 本多 滝夫(龍谷大学教授) 尾林 芳匡(八王子合同法律事務所 弁護士)

会場 日本教育会館707会議室(先着60名) 地図⑥ オンライン Zoom

会場案内地図 1日目 全体会 KFCホール(国際ファッションセンター) 東京都墨田区横網(よこあみ)1-6-1 第一ホテル両国内 2日目 分科会 6会場10分科会

- 1自治労連会館 東京都文京区大塚4-10-7
2林野会館 東京都文京区大塚3-28-7
3東京労働会館ラパスホール 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館7階
4全労連会館 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター
5全国家電会館 東京都文京区湯島3-6-1
6日本教育会館 東京都千代田区一ツ橋2-6-2

